



# GOGO! 宮崎労働局

発行：宮崎労働局  
宮崎市橋通東3-1-22  
宮崎地方合同庁舎  
TEL0985(38)8821

## 令和6年1月統計

- 【 労働災害発生状況 】 死亡災害 2 件、死傷災害 3 6 件  
(年計・コロナ感染症を除く休業4日以上死傷災害)
- 【 有効求人倍率 】 1. 3 3 倍

宮崎労働局HP



## 労働災害の無災害記録700万時間を達成！

### 宮崎労基署 無災害記録証を授与

宮崎労働基準監督署は1月31日に無災害記録証伝達式を執り行い、平成22年9月7日から令和5年10月20日までの間、累計700万時間の

無災害を達成した吉川工業アールエフセミコン株式会社宮崎本社へ、厚生労働省第1種無災害記録証を伝達授与しました。

同社は半導体製品の設計・製造などしており、約240名の労働者が勤務する会社で、「会社で働く全ての人々の「安全」と「健康」を維持するため、活力ある職場環境づくりに全社一丸となって取り組んでいく」を基本方針として、

菊地署長（左）と荒木取締役社長（右）



積極的かつ継続的に安全衛生活動を推進しています。その結果、平成29年5月に宮崎労働局第3種無災害記録を達成してからも無災害を継続し、今回の記録達成となりました。

### 人材確保のために 事業所向け セミナー開催



需給調整事業室では、2月8日、21日と2日間に渡り医療3分野向けオンラインセミナーを企画し、事業所164社の申し込みがありました。医療3分野とは、介護・看護・保育士の事業所で、人手不足の課題もあることから、職業紹介事業所を利用するにあたっての留意事項と併せて、人材開発支援助成金やハローワーク宮崎に設置してあるコンタクトコーナーの支援等も含めたセミナーを実施し、今後の各事業所における人材不足に対する新たな支援対策になるよう積極的な制度の活用を周知案内しました。

Zoomを使って説明する宮脇室長



## 労働災害を疑似体験

～「SAFEコンソーシアム」加盟企業を労働局長が視察～

令和6年1月25日 坂根局長らは増加傾向にある「転倒」や「腰痛」等の労働災害防止対策に取り組んでいる霧島酒造株式会社「安全研修センター」を視察しました。安全研修センターに設置された安全体感装置(6機)は、ベルトコンベヤーやローラーの巻き込まれ災害を再現するもので、タオルや疑似手を使って巻き込まれの疑似体

験をしました。

そのほか、33種類の労働災害を体験できる仮想現実シミュレーターでは、GoogleのVR映像により転倒災害や脚立からの転落災害を疑似体験しました。坂根局長は、疑似体験による労働災害の減少を期待できる「SAFEコンソーシアム」加盟企業の取り組みを報道機関を介して広く周知しました。



ベルトコンベヤーの巻き込まれの疑似体験をする坂根局長





# 都城地区立地企業就職説明会 ・面談会 ふるさとの企業を知ろう!

ハローワーク都城  
(マザーズ)  
LINE公式アカウント



ハローワーク都城では、都城市と宮崎労働局との雇用対策協定に基づき、都城市と協賛で立地企業を対象に就職説明会・面談会を開催しています。2月13日は都城合同庁舎の会議室で今年度11回目を開催しました。

参加された企業からは「求人を出してもなかなか応募がない中、話を聞きに来てくださり、自社のPRを行うことができたので大変ありがたい」、「採用したい人材がいたので、まずは自社の見学をしてもらう等、採用に繋がればと思っています」といった声をいただきました。

また、求職者の方からは「気になっていた会社の話を気軽に聞くことができ、大変参考になった」「安定所のLINEを見て来た。全企業の話が聞けたので、前向きに応募を検討したい」などの声をいただいております。当日を含め今年度は、企業のべ48社、求職者のべ117人の参加となりました。人材確保は立地企業にとっても課題であることから、来年度も実施予定であり、より多くの企業や求職者の方々から「参加して良かった」と思っていたら幸いです。よう都城市と連携し、マッチングの機会を作っていきたいと思っております。



面談会の様子

**みやざき 春の就職応援フェア 2024**

みやざきで働こう!

- 参加無料
- 入場自由
- 事前申込不要
- 履歴書不要

詳しくは労働局HPより  
企業PR動画を2月上旬より順次公開!!

令和6年 **3月4日** (月)

会場 シーガイア コンベンションセンター 4階 サミットホール  
参加費受付 12:00~15:30  
企業アピールタイム 13:00~16:00

## 若年層の地元定着 小林市との雇用対策協定

若年層の流出と戻りの弱さに着目し、雇用対策が重要な柱の一つであると捉え、小林市は宮崎労働局・ハローワーク小林と連携し平成29年より雇用対策協定を締結し対策に取り組んでいます。

2月8日に「小林市と宮崎労働局との雇用対策協定運営協議会」が開催され、Uターン希望者の掘り起こしを念頭に小林市が取り組んでいる「こばやしファン・サポーターズCLUB」への加入促進強化、ハローワークにおける窓口来所を要しないオンライン登録からオンライン紹介に至るまでの支援を進めることを確認しました。



伊藤安定部長 (中央)

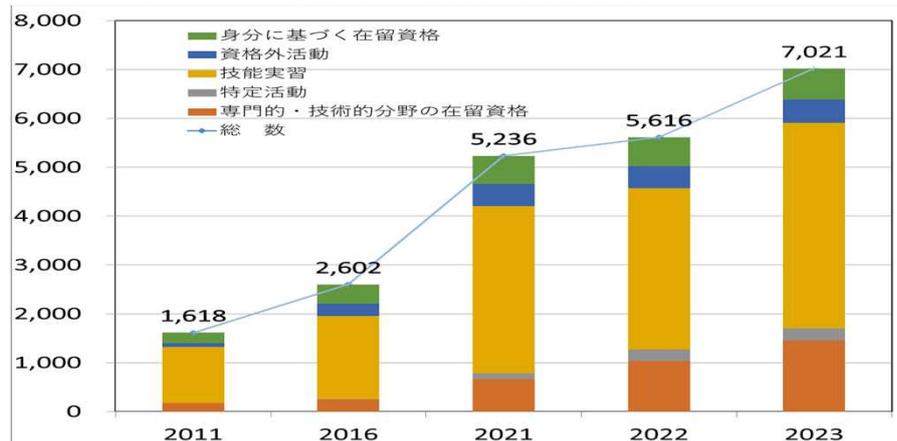
## 「外国人雇用状況」

過去最高

県内の外国人労働者7,021人

宮崎労働局では、県内における令和5年10月末時点の外国人雇用の届出状況を公表しました。外国人雇用状況の届出制度は、すべての事業主に対し、外国人の雇入れ及び離職時に、氏名、在留期間などをハローワークへ届けることを義務付けています。

集計の結果、県内の外国人労働者数は7,021人で、前年比1,405人の増加となり、2年連続で過去最高を更新しました。人手不足を背景に、コロナ禍の入国制限の影響で減少していた技能実習が増加に転じています。また、外国人労働者を雇用する事業所についても、1,357か所となり、前年比で105か所増加、過去最高となっています。



外国人労働者がますます身近な存在となるなか、宮崎労働局では、管内における外国人雇用の状況を正確に把握し、適切な雇用管理が図られるよう助言・指導を行うこととしております。